

令和6年度 社会福祉法人清徳会 事業計画

社会福祉法人清徳会は、基本理念を踏まえ、地域における社会福祉充実のため、本年度も次の5つの重点項目を基軸に、社会福祉事業等の展開を図っていくこととします。

【総論】

令和6年度から始まる第9期介護保険事業計画期間は、その計画期間中にいわゆる団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年を迎えることとなります。これまで累次の介護保険制度改正や介護報酬改定により、地域包括ケアシステムの推進が図られてきましたが、今後、高齢者人口がピークを迎える2040年頃に向けて、85歳以上人口割合の増加や生産年齢人口の急減といった更なる人口構造の変化やそれに伴う社会環境の変化が見込まれており、引き続き、不断の対応が必要です。

また、生産年齢人口の減少が顕著となり、介護を含む各分野における人材不足が更に大きな課題となることが見込まれるとともに、特に近年、物価高騰や全産業における賃金の引上げが進む中で、サービス提供体制の確保の観点から、介護人材の確保と法人の健全な経営環境を確保することが重要な課題です。

【重点項目】

1 地域ニーズに合う事業展開

- ① 人口構造及び世帯構成が変化し、今後、更なる高齢者の増加と生産年齢人口の急減が見込まれる中で、国の介護保険制度を含む社会保障全般の動きを注視し、令和6年度から始まる第9期高山市介護保険事業計画に沿った事業を展開します。また、施設における各事業の運営をより効率的なものとするよう、情報の収集・活用とPDCAサイクルの推進に取り組みます。
- ② 社会福祉法人制度の下、社会・地域貢献への充実を図り、社会福祉法人としての機能と役割を果たします。
- ③ 住み慣れた地域において、利用者の尊厳を保持しつつ、必要な介護サービスが切れ目なく提供されるよう地域包括ケアシステムの推進に取り組みます。
- ④ 利用者満足度の聴取、分析、結果の評価を行い利用者のニーズに応えるよう努めます。
- ⑤ 地域、関係団体等を中心に清徳会の事業・活動内容を理解いただき、イメージ向上を図るため、ホームページ等を活用した積極的な広報活動を行います。また職員に対しても、清徳会職員としての意識を高めるため内部広報を積極的に行います。

2 施設及び設備の整備・充実

- ① 施設介護の方向性(入居者のプライバシー保護・重度化、職員の労務負担軽減)並びに新型コロナウイルス感染症への対応の経験を踏まえた必要な設備や備品

などの充実に努めます。

- ② 施設や設備などの老朽化等に伴う改修や更新を計画的に進めます。特に新宮園の1号館は建設後約30年が経過し、施設が老朽化していることから引き続き検討・整備事業に取り組みます。
- ③ 清徳会宙交流館を地域福祉活動の拠点として活用を推進します。
- ④ 災害時における高齢者の避難拠点（福祉避難所）としての役割を担うなど、地域における社会福祉施設としての施設及び設備の整備・充実に努めます。

3 健全で安定的な運営

- ① 公的価格である介護サービス等報酬の中で、利用者に必要な介護サービスを提供するため、新規・上位の加算を取得し、最大限の収益確保に努めます。また、業務の効率化・見直しを行い、費用の節減・削減を図り、的確な予算管理と計数管理を行い情勢の変化に対応できる経営基盤を確立します。各介護サービスにおける目標利用率は以下のとおりとします。なお、介護人材が不足する中、将来に向けて持続可能な施設運営を目指すため、介護サービス事業の休止、廃止等の選択も検討していくこととします。

特別養護老人ホーム 98%

ショートステイ 90%

デイサービス 90%

サービス付き高齢者向け住宅 98%

- ② 科学的介護の推進は介護の質向上のために重要な取組であり、L I F E（科学的介護情報システム）の導入から3年が経過することから、引き続き活用を推進し、P D C Aサイクルにより自立支援・重度化防止に取り組みます。
- ③ 施設・設備の整備並びに物価高騰等対策に当たっては、積極的に国・県等の公的補助金を活用し、費用の圧縮に努めます。
- ④ 地域から求められる活動の実践に取り組むため、地域、関係団体等との積極的な情報交換・交流を図ります。
- ⑤ 経営情報の見える化が重視されていることから、財務状況はもとより適正な情報を公表することにより、利用者等に対する法人の信頼性を高めていきます。

4 新興感染症や災害等への対応力強化

- ① 新興感染症の集団感染、大地震や豪雨等の自然災害が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供できる体制を構築し、B C P（業務継続計画）が確実に実行できる組織的な取り組みを強化します。
- ② 地域医療機関並びに近隣地域との連携を強化し共に歩む施設づくりを進め、災害の際は地域の拠点として安全性が確保できる施設であるよう研修・訓練を実施します。
- ③ 介護等に係る事故発生の防止と発生時の適切な対応、利用者の人権の擁護・虐待の防止等、身体的拘束等の適正化を含めた安全性の確保等の取り組み等を推進するため、リスクマネジメントを強化します。

5 職場環境の改善、介護人材の確保・育成

- ① 介護人材を確保するため、処遇の改善、職場環境の改善による離職防止、介護職の魅力向上などに努めるとともに、ハラスメント対策を含めた働きやすい職場づくりに取り組みます。また、メンタルヘルス対策の一環として外部相談窓口の活用を推進します。

介護人材の確保と育成に努め、併せて業務の標準化を図り、休暇が取得しやすい体制づくりを目指します。子育てに優しい職場として、託児室の活用、育児休業期間の延長や、男性職員の育児休業取得を促進します。

また、見守り機器や移乗・入浴支援機器など介護ロボットの導入による業務負担の軽減策を講じることにより、介護サービスの生産性向上に取り組みます。

- ② 職員の資質向上を目的として各種研修を計画し実施することにより、社会福祉従事者としての自覚を持ち、責任醸成及び組織人として互いを尊重し合い、信頼し合える人間関係を構築します。

また、利用者に質の高いサービスを提供できるよう、研修を通じて職員の専門知識を高めるとともに、資格取得の一層の推進に取り組みます。

- ③ 臨時職員から正職員への登用など柔軟な採用を実施するとともに、多様な働き方により雇用機会の増大を図ります。また、紹介による人材の確保について、職員並びに地域へ積極的な働きかけを行います。

- ④ 福利厚生の実施と昇給を確保すること等により処遇全般の改善を図るとともに、働きがいのある職場づくりの一環として研修と評価一体型の仕組みを構築し、キャリアアップを図ります。

- ⑤ 将来、当法人での就職を希望する人材を育成し、介護人材の安定的な確保を図るため、奨学金貸与制度の普及に努めます。

- ⑥ 全国的に介護人材の不足が顕著となる中で、外国人介護人材の活用が推進されています。当法人も人材確保が喫緊の課題であることから、サンビレッジ国際医療福祉専門学校（岐阜県池田町）と連携し、留学生に奨学金を貸与し、将来の安定的な職員確保に努めます。